

第7号  
平成24年  
9月

# 同窓会だより

山梨県立山梨高等学校同窓会

同窓会長 吉原五鈴子



## 梨窓会の更なる発展を期して

今夏も酷暑の連日でしたが、梨窓会会員の皆様方には、ご健勝でお過ごしのことと拝察申し上げております。団らざも今年度から会長をお受けすることになりました。前岩崎会長の意を体し、副会長さん方と一緒にになって会務を進め、伝統ある梨窓会の更なる発展を期して参りたいと存じます。

大正6年の創立以来95年の歩みを重ねてきた同窓会です。全国各地で様々に活躍されておられる先輩諸姉はもとより、在校生の活力溢れる奮闘に応えられるよう頑張らねばと執行部一同自らに言い聞かせております。

同窓会だよりも発刊から4年目を迎え、楽しみに待っているとのお言葉も嬉しく伺っております。この配布に当たっては、各支部役員様方に多大なご尽力を頂いておりまることにも感謝致しております。

梨窓会への更なるご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

校長 深澤 幸一



今年もまた暑い日が続きましたが、同窓会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。6月から7月の半ばにかけては、昨年を思い起こせば、涼しくも感じられる天候が続き、熱中症による救急車を要請することもなく安堵しておりましたが、その後の酷暑は、まさに「石も木も眼に光る暑さかな」(去来) ありました。明日から8月となる今日も、先程までグランドの片隅で頭から水をかぶっていた生徒たちの歓声も消え、今は、校庭もその周りの木々も、灼熱の太陽に領されてひっそりと静まりかえっています。

そんな暑さでしたが、無事終了した一学期の諸行事のうち、野球部が夏の大会で1回戦勝利し、富士の麓に校歌が高らかに鳴り響いたのは、望外の喜びでした。2回戦は残念ながらの惜敗でしたが、応援委員・吹奏楽部そして全校生徒が一体となった応援に、学校としての着実な進歩を感じることができました。これもひとえに、ご支援・ご協力いただいている皆様のお陰だと厚く御礼申し上げます。

さて、2学期の10月にはすべての方を対象にした公開授業を17日からの3日間、また30日には芸術鑑賞会(MALTA四重奏団)を予定しておりますので、時間がございましたら懐かしい母校をお訪ねいただければ幸いです。

最後に、同窓会の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 平成24年度山梨高等学校同窓会総会・同窓親会

### 栄えあれ！ 山梨高校同窓会

平成24年度同窓会総会実行委員長 平野婦美子



すばらしい天候に恵まれ、平成24年度山梨高等学校同窓会総会並びに懇親会が開催されました。本年度の当番幹事は昭和44年度平成元年度卒業生でした。会場入口の山桜の楚々とした淡いピンクの花が、ほほえむように私達を迎えてくれました。思い返せば昨年10月、第1回準備委員会に出席者6名、本部の皆様に「6名も集まって」と喜んで頂いたのが印象的でした。それから声かけをしていき第1回実行委員会が11月19日に21名で開催されました。平成元年度卒がその内の2名でした。各専門委員会の委員長もスムーズに決まり来年4月29日にむけスタートをきりました。厳しい世相の中での広告取り、会員券の販売と、なかなか思うような結果が出せませんでした。各支部の支部長様や本会の執行部の皆様方には大変お世話になり、ご協力を頂きました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。毎月の実行委員会、その間の小実行委員会、専門委員会打合せとそれぞれが役割分担して準備を致しました。そして迎えた当日4月29日、ぬけるような青天でした。本当に気持ちよい朝でした。皆で気合を入れて「とにかく今日一日を楽しみましょう」の合言葉で準備に入りました。すばらしかった在校生のコーラス、プラスバンド、おいしかった野点、たくましい応援部の演式、チャスカさんのオルケローレとすべてが予定通りに進行いたしました。皆さんのお楽しそうな笑顔が一番心に残りました。久しぶりの恩師、同窓生との出会い、この場でなければなかなか会うことなどできません。本当に楽しい時間でした。実行委員一同、終了後のお茶のおいしかったこと。今年度も昨年度に続けて東日本大震災救援金26万377円を山日YBS厚生文化事業団に寄付することができました。



また反省会で一人一人反省を述べてもらいましたが、皆一様に実行委員をして本当によかったとの声を頂き、うれしく思いました。すべての関係者の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この会を未来永劫へとつなげていって頂きたいと思います。

## 平成24年度同窓会役員紹介

常任顧問	深澤 幸一	副会長	高橋 文子	山梨支部	奈良 文子	三富支部	日原貴美保	鈴木三枝子	雨宮登美子
顧問	村田 政子		矢崎 圭子	坂本 好子	堀内 明美	塙山支部	小野 律子	御坂支部	風間 朝子
古屋 純子			石川 富子	大沢 和子		長谷川 正恵		春日居支部	望月 孝子
丸山 正一			遠藤 文子	花村 陽子		山下五十鈴		深水 純子	落合 節子
参 与	丸山とみ子		坂本 好子	雨宮 節子	石和支部	島田 洋子		窪田 澄子	山縣 洋子
佐野知都子			篠 正子	渡辺 元子		赤尾 和子		吉岡 伴美	石原 英子
前嶋宇夕子			三科 典子	岡 正子	渡辺みか子			萩原 瑞栄	平野婦美子
会 長	吉原五鈴子		齊藤 春美	牧丘支部	前嶋宇夕子	山内千恵子	八代支部	海野 明美	東京支部 篠 正子
			雨宮 悅子		一宮支部	堀内 民子		長坂真実子	
			芳賀美奈子		山下 喬子	代永 妙子	前嶋 充		
							甲府市部	菊島 史子	*他の支部について は、検討中です。

# 同窓生の活躍紹介



## 箏と私

私がお箏を弾き始めたのは小学校三年生の頃で、七人兄姉の末っ子の私は母のすぐめもあって、その頃はなんなく音色を楽しんでいました。兄姉はそれぞれの夢を持って大学を卒業し、のちに異なった職業につきました。思いかえしますと昭和二十一年、私にとって運命的とも思える出逢いがありました。それは東京から疎開して来られた塚越清子先生に出逢えた事です。先生はあの春の海作曲で有名な宮城道雄先生の愛弟子で東京芸術大学の出身でした。私と姉はすぐに先生にご指導頂く事になりました。第一回の発表会は昭和二十二年、山梨女子師範学校の講堂でした。又、二十四年、二十七年には、箏曲演奏会が県会議事堂と山梨英和学院で、東京から宮城道雄先生をはじめ諸先生方をお招きして盛大に開催されました。当時中学生だった私も宮城先生と同じ舞台で演奏させて頂いた事は、大変、光栄な思い出です。それから三十一年に私は東京芸術大学に入学し、その時四年生には姉が在学しており、共に箏の道を歩む事になりました。しかしその年私の一番の理解者であった母が五月に他界し、六月にはご指導頂いている宮城先生も亡くなられてしまいました。先生の最後のおけいこは「千鳥の曲」でした。ふるさとにゆかりのあるこの曲は、「塙の山差し出の磯にすむ千鳥君が御代をば八千代とぞなく」(古今集)です。

子供の頃から山梨で行事があると姉と共によく演奏していた思い出の曲です。そして卒業後、世の中はおけいこ事の全盛期で大変良い時代が続き、演奏会や放送、テレビ、イベントなど無我夢中で過ごしました。平成二十年頃より、中学校学習指導要領の中で和楽器を体験する授業が義務づけられ、私も学校に出向く事が多くありました。昨今、IT業界のめまぐるしい進化についてゆかれない年齢になりましたが、これからの方々に日本の伝統文化が忘れられる事のないよう、微力ながら努力してまいりたいと思います。

箏曲生田流宮城社大師範 田中かほる(旧姓飯田)

## 在校生の皆さんへ

私は、丁度皆さんの人生の倍の年齢にいる、山梨高校の卒業生です。今は株式会社東宝映画という会社で、映画の製作をしています。ちょっと変わった仕事をしていますが、沢山の人に会い、沢山の場所へいった事で、皆さんより少しだけ見えてきた事があるので、それを伝えたいと思います。皆さん、将来何をしたいか? この問題を早く考えるべきだと思います。学校や親は勉強しろ!と口が酸っぱくなるほど言います。しかし、目標がない限り、勉強したところで、何なんだ? という事になります。大学に進学するなら、少しだけ猶豫がありますが、働かなければ生きていけません。この現代社会は、お金持ちに成りたければ、有名大学を出て、お金持ちの知人を沢山つくるのが最短の道です。適当に高校を卒業して、適当な会社で働くのも、気楽で楽しいかと思います。ただ、後になって努力して何かを為そうというのは、大変難しいことだと思います。私のスタートは当然、後者でした。もっと早く気付いていれば、違った未来もあったのだと後悔をすることもあります。失敗や挫折もしてみないと、分からぬ事もありますが…皆さんにいいたいのは「今」を無駄にしないで欲しいということです。周りに合わせたり、他人の雑音で自分の意思を曲げたりせず、自分が将来何をしたいか? を確かめて下さい。一秒でも多く悩んで下さい。そして、少なくともいいので、眞の友達をつくって下さい。それが、皆さん的人生を豊かにしてくれるはずです。勿論、彼氏彼女をつくるのも、大切な経験になります。いろいろ忙しいと思いますが、もう一つ追加して悩んで欲しいのです。将来の自分へのビジョンがあれば、それを目指す為に何をするべきか見えてくるはずです。大学を選ぶのも、その先にある仕事をある程度方向付ける場合もあります。皆さんには思っているほど、考える時間は無いということです。ですが仕事とは、人生の中で睡眠の後に多い時間を過ごす作業です。後で後悔するより、今、悩んで欲しいとオジサンは思っています。恥ずかしがらぎに、友達や先生に相談して下さい。諦めなければ、必ず道は開けるものです。たとえ、すぐに目標に届かなくても、努力したことは何一つ無駄にはならないのだから…といふ話を、皆さんの年齢のときに聞きたかったなあと思い、これを書いています。最後に、私が尊敬する人の言葉を贈ります。

Stay hungry, stay foolish それは彼らの別れの言葉でした。Stay hungry, stay foolish 私も常々そうありたいと思っています。Stay hungry, stay foolish そして今、新たな人生を踏み出す君たちにも、そうあって欲しいと思っています。Stay hungry, stay foolish (貪欲であれ、バカであれ)

一つでも多くの経験を、「今」して欲しいと願っています。この度は、この様な機会を頂き、有難うございました。

菊島 高広

山梨高校平成5年度卒業。笛吹市出身。高校卒業後県内で1年半働いた後上京。2004年から東宝映画に勤務、映画撮影業務に携わる。撮影、照明、録音、美術、装飾等多様なスタッフに対応。多忙な毎日を過ごしている。東京都在住。

# 学校だより・学校ニュース

## 新たな歴史 一応援団旗初披露

応援団初代旗手長 古屋 敬太



山梨高校では、今年の七月初めて応援団旗が製作されました。その旗の初披露となったのが、七月七日に行われた学校説明会です。私は旗手長として団旗を掲げさせてもらい、校歌、応援歌に合わせ、大きく振りながら、とても誇らしい気持ちになりました。

翌日七月八日に行われた野球応援は説明会と違い、外での長時間に渡る旗手経験となりました。球場では風が強くて、旗を掲げているのはとても大変でした。しかし、野球部が試合を必死に頑張っている姿を見て、「野球部が頑張っているんだから、自分も頑張ろう。」と思い、苦しい気持ちを力に変えることができました。他にも私の近くにいた友人のみんなや先生方にも、「頑張れ。」と言ってもらえたことにより、必死に旗を掲げ続けることができました。

野球応援前の練習では、応援委員会の先生方から、団旗の持ち方、振り方など指導してもらいました。格好よく旗を持つため、上手に旗を振るために、一生懸命練習することができました。

応援委員会の活動は毎週一回行っています。声出しから、型の振り方まで、委員会の皆は短い時間で集中して取り組んでいます。また、応援の合同練習会などにも積極的に参加し、日に日に応援のレベルは上がってきています。山梨高校応援団はこれから、もっともっと進化していくと思います。

先輩方が築いてきた山梨高校の伝統を胸に、山梨高校、そしてこの応援団の発展を願って、今後も頑張っていきます。



## 経験から進路へ、目的達成に向けて

陸上競技部 岸 拓実



私は五月に行われた山梨県総合体育大会の陸上競技で、ハンマー投げに出場しました。結果は三位で、関東大会に出場を決めました。

そして、六月に行われた関東高等学校陸上競技大会のハンマー投げに出場しました。大会前日の練習では、他県の選手らが投げている様子を見て、正直すごいなと思いました。しかし、多くの先生方に、「大会の空気にのみ込まれるよ。」などのアドバイスをもらっていたことを思い出し、自分のいつも通りの投げをすればいいと思いました。大会の結果は、ベスト8に残れず、残念な結果に終わりました。しかし、このようなレベルの高い中で戦えたことで非常に大きな刺激を受けることができ良い経験となりました。ここまで来れたのは、先生方や部員のおかげだと思います。先生方には技術面を丁寧に、そして、的確に指導していただきました。また部員たちに僕の精神面を気遣ってもらったことで大会当日はいいコンディションで競技ができました。

この経験は、今後の生活の中で大きな自信となり最後まで頑張り抜く力になると思います。関東大会が終った今、僕は陸上競技部を引退し、進路実現に向けて日々過ごしています。陸上競技部で培ったものを受験勉強にも生かし、目標達成に向け頑張ります。

同窓生の方でご活躍している方がおりましたら、事務局までお知らせください。  
紹介させていただきたいと思います。

## 平成24年度 山梨高等学校「梨美展」

10月8日(月)~10月13日(土)

山梨県立山梨高等学校  
文化創造館1階 梨窓ホール

ぜひご来校頂き、  
ご鑑賞下さい。



〒405-0018 山梨県山梨市上神内川194

山梨県立山梨高等学校 同窓会事務局

TEL : 0553-22-1621 FAX : 0553-22-1623

URL : <http://www.yamanashi.kai.ed.jp>